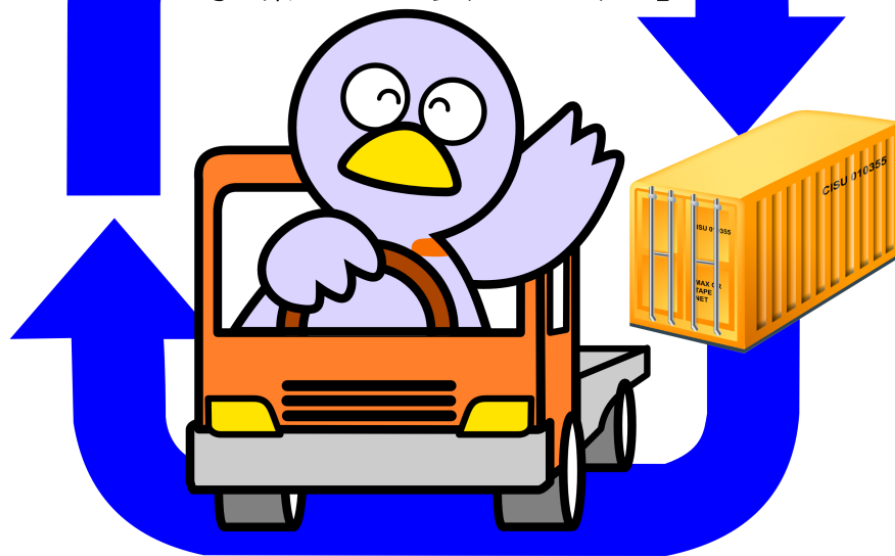


# CRU 埼玉県 コンテナラウンドユース

推進協議会

埼玉県のマスコット「コバトン」



埼玉県コンテナラウンドユース

検索

## 背景

### 国の目標

【平成26年から概ね5年以内】

国際コンテナ戦略港湾に寄港する欧州基幹航路を週3便に増

北米基幹航路のデイリー寄港を維持・拡大

現状で我が国への寄港が少ない航路の誘致

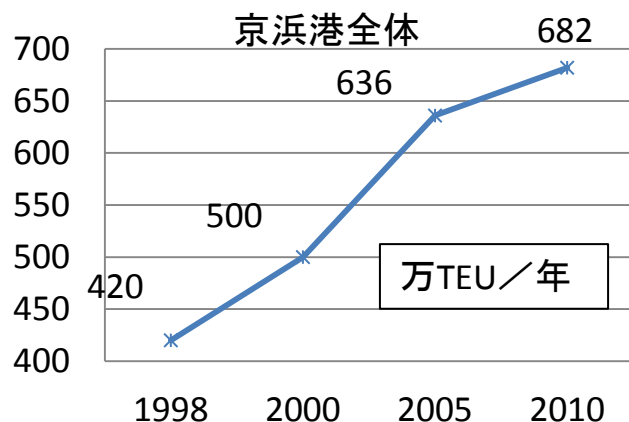
【平成26年から概ね10年以内】

多方面・多頻度の直航サービスを充実

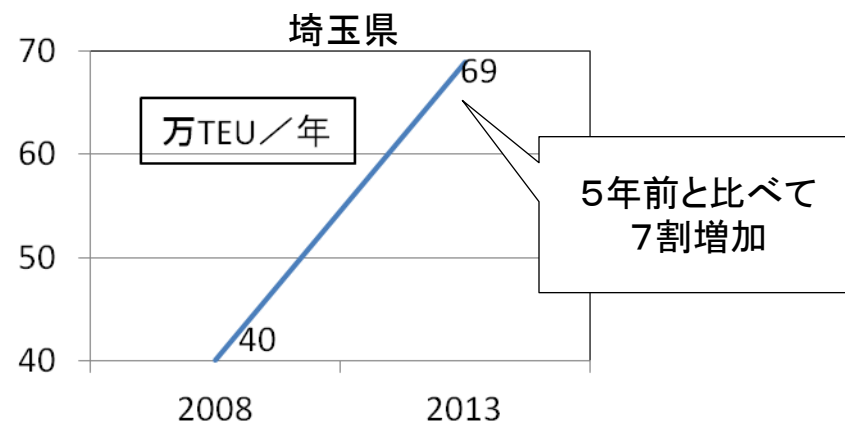


# 課題

## 京浜港のコンテナ取扱量推移



【港湾管理者港湾統計書】



【全国輸出入コンテナ貨物流動調査】

結果、京浜港に国内貨物輸送が集中し、陸上輸送の効率化が求められている。

- ・青梅ふ頭 : 空コンテナ搬出3時間待機、同搬入2時間待機
- ・品川ふ頭 : 空コンテナ搬出2時間22分待機

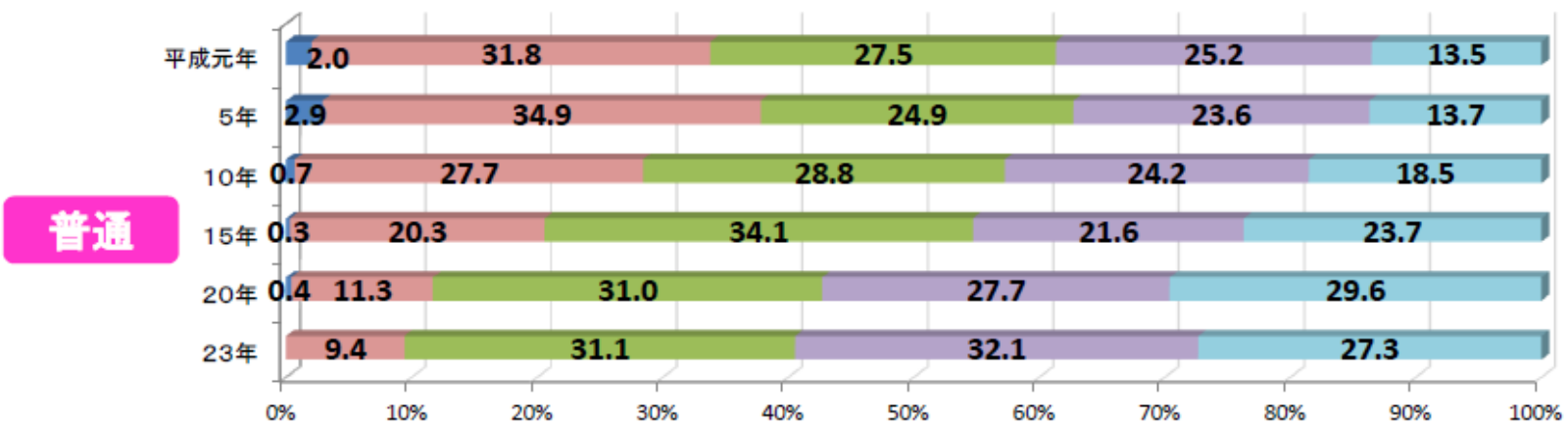
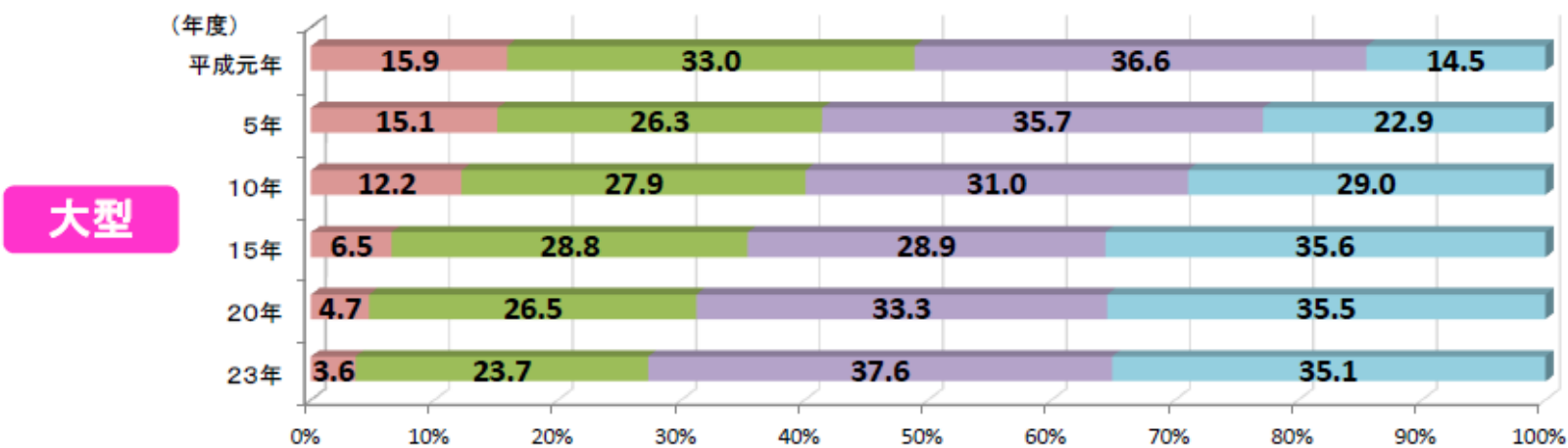
＜一般社団法人東京都トラック協会調べ＞

荷物が運べない。昔は3本運べた。今は平均1本半。  
若いドライバーが皆やめてしまう。10年後には物が運べなくなる。

＜海上コンテナ事業者＞

# トラックドライバーの年齢構成比の推移

トラックドライバーの高齢化が進み、特に30歳未満の割合が減少しており、若者のトラックドライバー離れが進んでいると言える。





# 背景

圏央道(国道468号 首都圏中央連絡自動車道) 延長約300km 開通目標年次



注1: ※1の区間の開通時期については土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合  
 注2: 久喜白岡JCT~木更津東IC間は、暫定2車線  
 注3: 圏央道の差利谷JCT~戸塚IC、柴IC・JCT~藤沢IC、大東JCT~松尾横芝IC区間以外のIC・JCT名は決定



# 圏央道周辺等の産業用地に係る立地ニーズ調査結果について

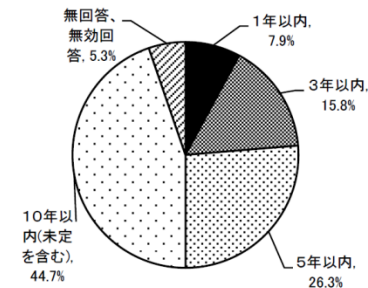
圏央道周辺を中心とした埼玉県内の立地ニーズ 38社、面積78ha

- 1 14社が農業大学校跡地等に関心あり。計35haのニーズ
- 2 5年以内の立地検討が5割（19社）
- 3 面積は1ha未満が約4割、1ha以上も約4割
- 4 物流施設が最多、次いで事務所、生産・製造工場

## 2. 立地を検討している時期

	回答数	比率
1年以内	3	7.9%
3年以内	6	15.8%
5年以内	10	26.3%
10年以内(未定を含む)	17	44.7%
無回答、無効回答	2	5.3%
合計	38	100.0%

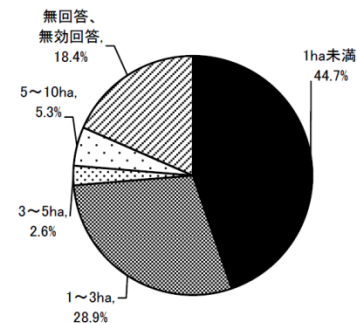
☆ 5年以内の立地検討が5割（19社）



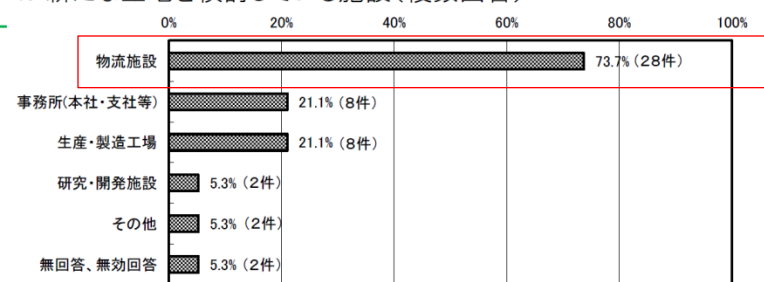
## 3. 立地予定面積

	回答数	比率
1ha未満	17	44.7%
1~3ha	11	28.9%
3~5ha	1	2.6%
5~10ha	2	5.3%
10~20ha	0	0.0%
無回答、無効回答	7	18.4%
合計	38	100.0%

☆ 1ha未満が約4割。1ha以上も約4割



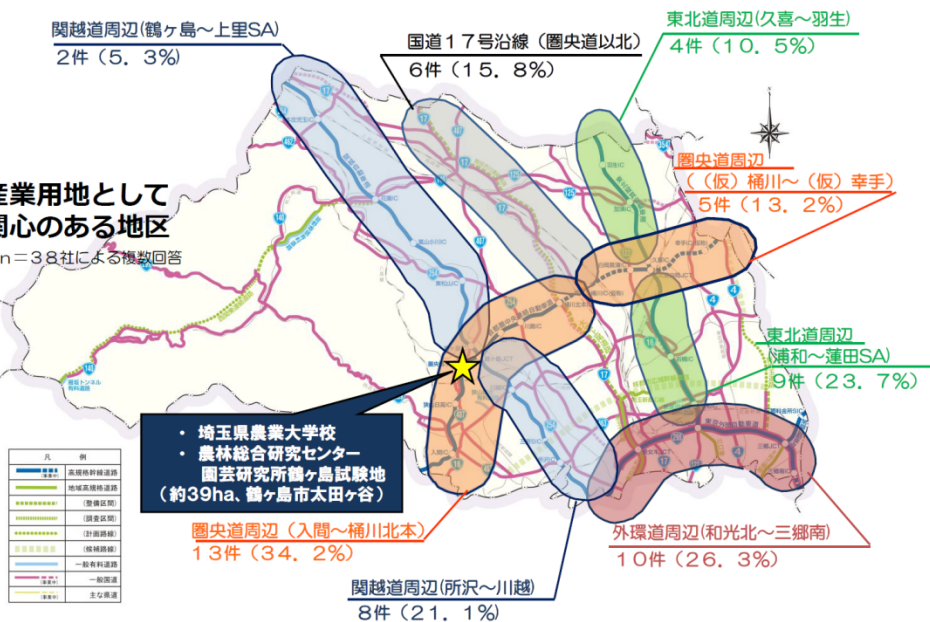
## 4. 新たな立地を検討している施設(複数回答)



☆ 物流施設が最多、次いで事務所、生産・製造工場

## 産業用地として関心のある地区

※n=38社による複数回答



## 1. 農業大学校跡地等への関心

	回答数	比率
非常に関心がある	1	2.6%
関心がある	13	34.2%
全く関心がない	22	57.9%
無回答、無効回答	2	5.3%
合計	38	100.0%

☆ 14社が農業大学校跡地等に関心あり。計35haのニーズ

### <調査概要>

- 目的  
圏央道周辺等の産業用地への次世代自動車・環境エネルギー関連産業等の次世代産業、食品・医療等の健康関連産業等の誘導及び集積を図るため、関連企業の投資意欲を把握する。
- 調査期間及び方法  
平成24年10月31日~11月16日 調査票の郵送によるアンケート調査
- 回収結果

配布数	回収数	無効回答数※	有効回答数	有効回収率
5,000	531	7	524	10.50%

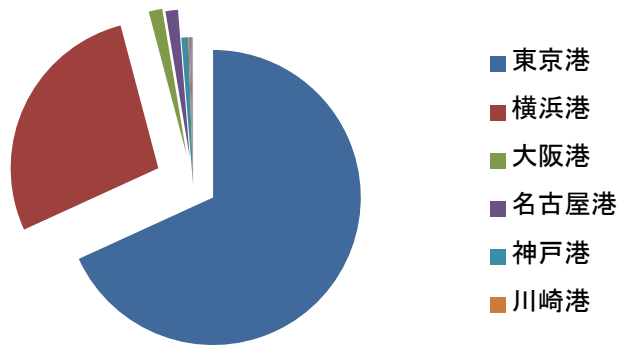
※無効回答の内訳は、未記入返送4、回答拒否・受取拒否2、あて先不明1

# 現 状

## 埼玉県の港湾利用状況

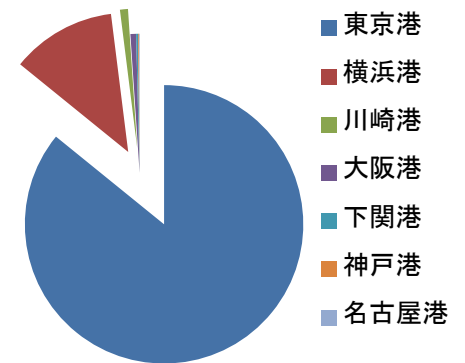
### 輸出

	TEU/月	
埼玉県合計	15433-	
東京港	10522	68.2%
横浜港	4276	27.7%
大阪港	229	1.5%
名古屋港	211	1.4%
神戸港	117	0.8%
川崎港	26	0.2%
清水港	24	0.2%
苫小牧港	15	0.1%
北九州港	5	0.0%
博多港	3	0.0%
福山港	3	0.0%
下関港	3	0.0%
新潟港	0	0.0%



### 輸入

	TEU/月	
埼玉県合計	42863-	
東京港	36726	85.7%
横浜港	5206	12.1%
川崎港	397	0.9%
大阪港	279	0.7%
下関港	94	0.2%
神戸港	44	0.1%
名古屋港	35	0.1%
清水港	18	0.0%
博多港	17	0.0%
茨城港	15	0.0%
四日市港	8	0.0%
新潟港	8	0.0%
千葉港	7	0.0%
三島川之江港	4	0.0%
広島港	3	0.1%
北九州港	1	0.3%



# 現 状

## 埼玉県のコテナ取扱量

輸出 18万TEU／年

市町村	場所数	フレートトン	TEU/月
1 川越市	79	45420	2523
2 さいたま市	75	19553	1086
3 八潮市	20	17140	952
4 行田市	43	15464	859
5 川口市	40	14628	813
6 戸田市	18	13428	746
7 上尾市	19	9589	533
8 加須市	42	7412	412
9 熊谷市	49	6139	341
10 春日部市	24	5981	332
11 朝霞市	10	5864	326
12 越谷市	38	4159	231
13 新座市	9	3810	212
14 羽生市	20	3502	195
15 深谷市	26	2873	160
16 草加市	12	2751	153
17 杉戸町	15	2629	146
18 東松山市	32	2371	132
19 三芳町	10	2366	131
20 所沢市	27	2329	129

輸入 50万TEU／年

市町村	場所数	フレートトン	TEU/月
1 さいたま市	320	1543064	85726
2 白岡市	72	52272	2904
3 草加市	72	43300	2406
4 加須市	113	40365	2243
5 桶川市	56	38566	2143
6 深谷市	86	37063	2059
7 久喜市	89	35456	1970
8 越谷市	92	33192	1844
9 川越市	121	32454	1803
10 川口市	100	27551	1531
11 三郷市	82	25450	1414
12 八潮市	85	18385	1021
13 日高市	62	16421	912
14 上尾市	74	14859	826
15 戸田市	93	14679	816
16 狭山市	62	13465	748
17 入間市	83	13058	725
18 行田市	56	12738	708
19 朝霞市	39	12733	707
20 春日部市	58	12568	698

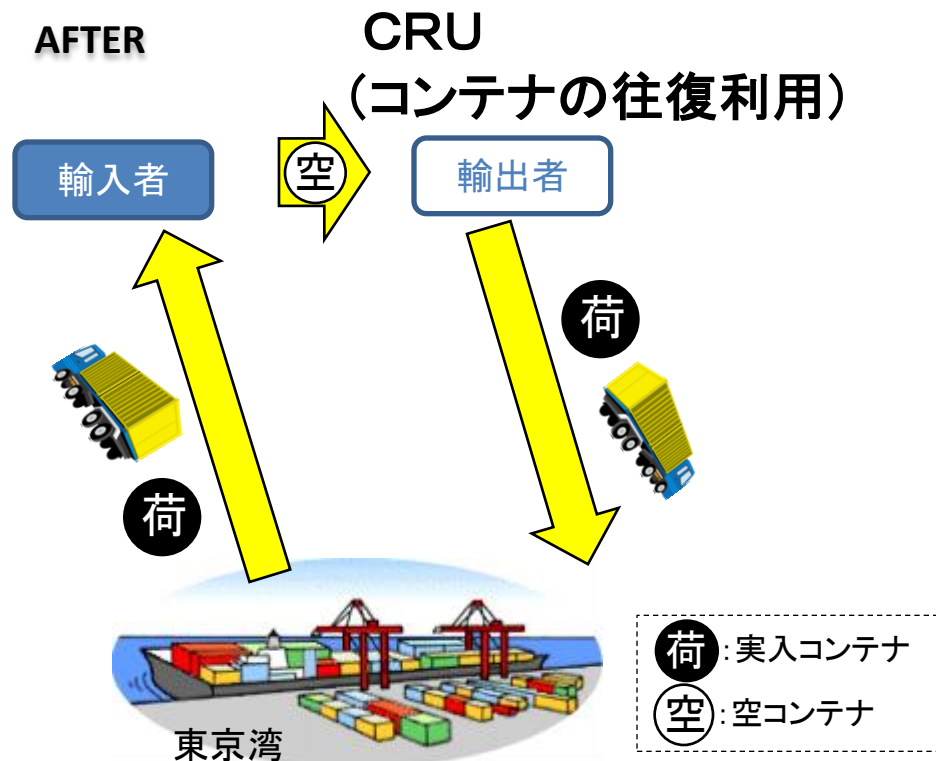
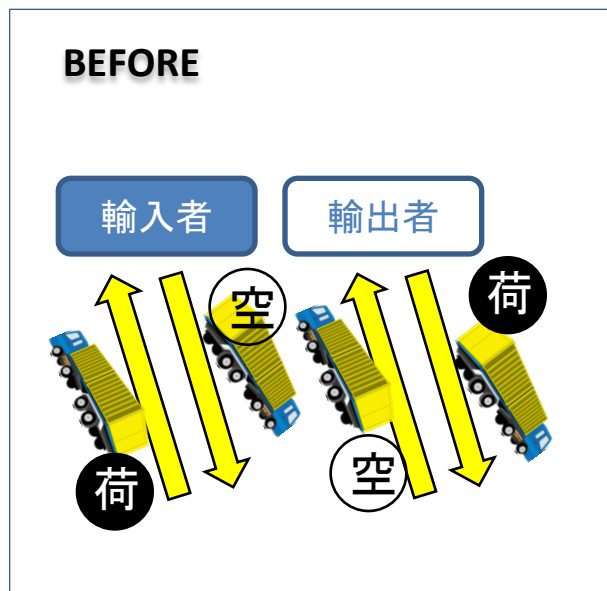
## 埼玉県の取組

県が旗振り役になってコンテナラウンドユース(CRU)を支援

- ・埼玉県コンテナラウンドユース協議会(SCRU)を設立し、共助のしくみづくり
- ・県内企業(荷主)・物流業者・船会社などの共同体(登録制度)

### CRUイメージ

<物流の効率化を実現>





# 埼玉県の取組

## H26年度 SCRUSケジュール

<p>ステップ1</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ SCRUS設立説明会開催 9/5 CRU推進施策(案)の説明・意見募集 10/3まで</li> <li>■ SCRUS構成員申込開始 9/5 ~ 随時募集</li> </ul>
<p>ステップ2</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ SCRUS設立、開催 10/21 埼玉県県民健康センター大会議室B (さいたま市浦和区高砂3-5-1)</li> <li>■ CRU共同体登録開始 10/21~随時募集 【目的】CRUの実態把握・課題把握、事業者の要望把握 【対象者】SCRUS構成員、共同体の1以上が県内企業</li> </ul>
<p>ステップ3</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ CRUS社会実験 11/1~1/31 【目的】CRUの実態把握 【対象者】SCRUS構成員</li> <li>■ 第2回SCRUS開催 3/20 埼玉県県民健康センター大会議室C (さいたま市浦和区高砂3-5-1)</li> </ul>

SCRUS: 埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会

CRU: コンテナラウンドユース

## 埼玉県の取組

### 2014.10.21 埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会設立

- ・26団体の関係者が参加
- ・1つの共同体が登録



# 埼玉県の取組

## SCRUイメージ

### □構成員

荷主

陸運  
事業者

船会社

その他  
CRU推進  
事業者

埼玉県

オブザーバー: 国土交通省関東地方整備局港湾空港部港湾物流企画室、NPOエスコット、県警

□協議会 趣旨: CRUを推進し、県内企業の物流の効率化を図る  
活動: ①CRUの実施 ②CRUに関する情報・意見交換  
③CRUに関する支援 ④CRUに関する普及・啓発活動

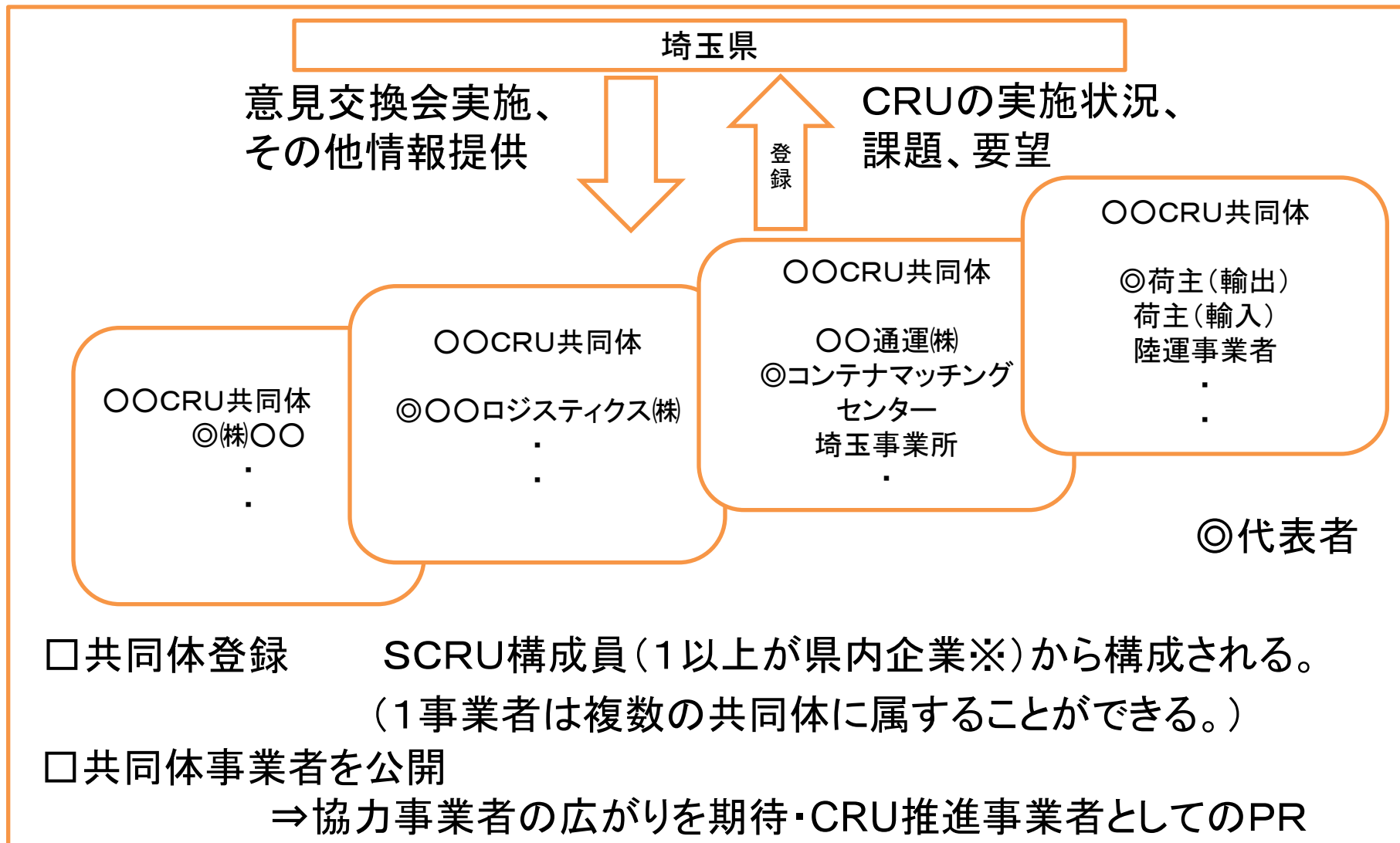
□県の役割 CRU推進策の検討・実施  
(CRU相手の募集協力、CRU実態把握・データ取得 ...)

□その他 構成員限定配布 CRU担当者名簿

SCRU: 埼玉県コンテナラウンドユース推進協議会  
CRU: コンテナラウンドユース

## 埼玉県の取組

### 共同体登録イメージ



# 埼玉県の取組

## SCRU構成員(H26.10.27現在)

荷主(5)	株式会社ニトリ 貿易改革室 担当
	曙ブレーキ工業株式会社 ロジスティクス改革推進室長
	本田技研工業株式会社 生産統括部SCM統括部海外部品物流部 埼玉海外物流ブロックリーダー
	国際紙パルプ商事株式会社 グローバルビジネス統括本部 グローバルビジネス製紙原料 営業本部 東日本営業部 貿易課 主事
	レンゴー株式会社 八潮工場 物流部長
陸運事業者(11)	関東紙運輸株式会社 営業部 営業部長
	日本コンテナ輸送株式会社 営業部長
	株式会社 日新 国際営業第1部 次長
	一般社団法人埼玉県トラック協会 海上コンテナ部会長
	日本通運株式会社 海運事業部 専任部長
	日本高速輸送株式会社 京浜支店 取締役京浜支店長
	西濃シエンカー株式会社 海外輸送部長
	八潮運輸株式会社 経営企画部長
	タツミトランスポート有限会社 代表取締役
	吉田運送有限会社 代表取締役
	伊藤忠ロジスティクス株式会社 食品・プロジェクト部 課長
船会社(4)	オリентオーバーシーズコンテナライン 日本代表
	NYK Container Line株式会社 営業部長
	株式会社ケイラインジャパン マーケティンググループ長
	PAN Ocean コンテナ日本 株式会社 営業部 代理店総括理事常務
その他(7)	郵船ロジスティクス株式会社 海上事業部 商品開発課長
	武蔵野銀行 県庁前支店長
	株式会社ユニエックス 営業推進グループ長
	一般社団法人 日本海事検定協会 業務執行理事常務
	東京海上日動火災保険株式会社 神奈川支店 川崎支社長代理
	i CONNECT GLOBE株式会社 代表取締役
	損害保険ジャパン日本興亜株式会社 物流開発部長



# 埼玉県の取組

## CRU実績表報告イメージ

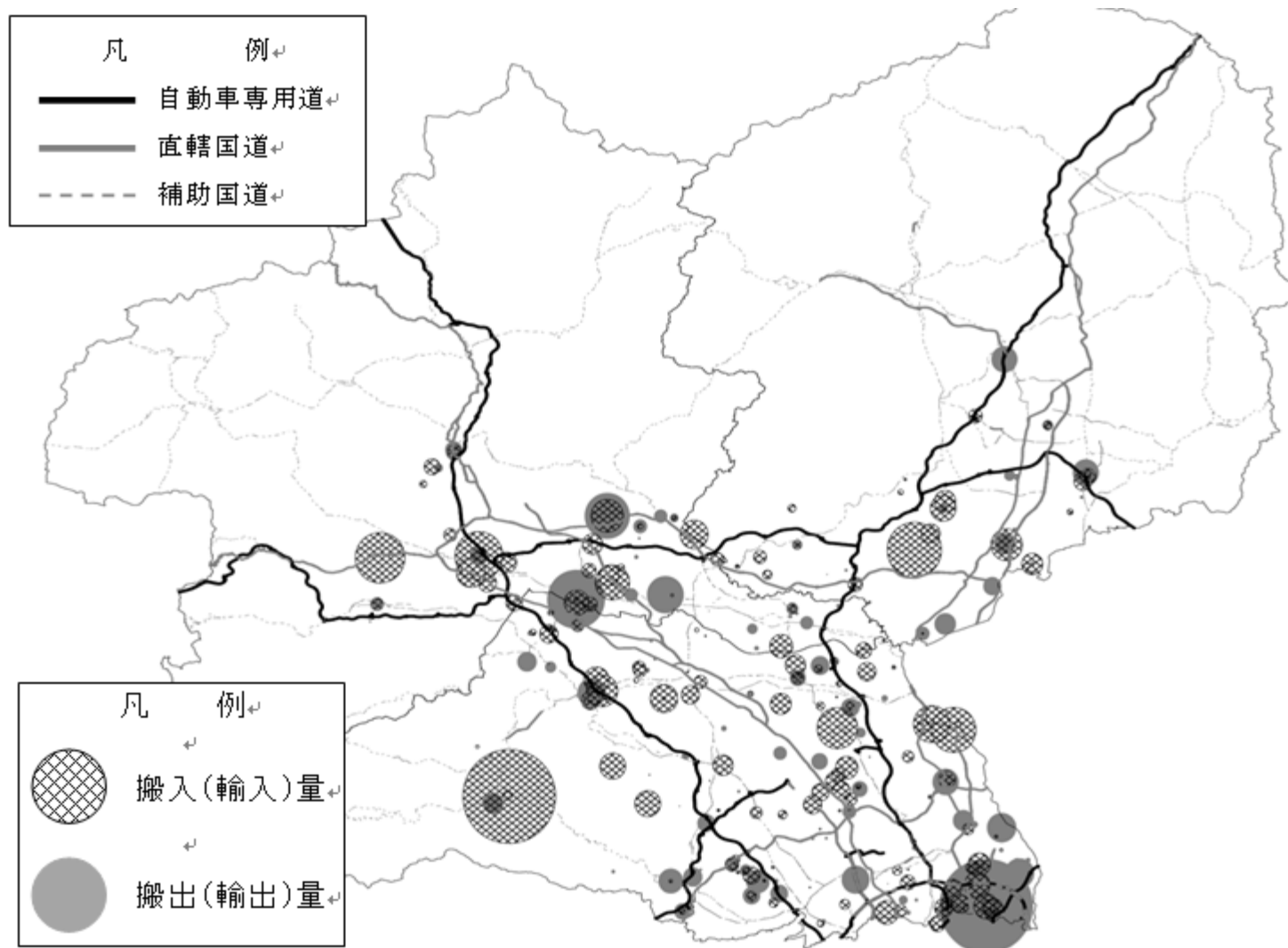
<報告者>

SCRU 構成員名称	連絡担当者 所属・役職名・氏名・電話番号・e-mail
〇〇	

コンテナタイプ 40GP/40HC/20FT	コンテナオーナー	コンテナ番号	輸入港	荷卸日	荷卸場所(住所)	荷主(輸入)	品目	荷受人	ICD名称・場所(住所)	荷受人	荷積日	荷積場所(住所)	荷主(輸出)	品目	荷受人	輸出港
40GP	〇〇(船会社名)	OOLU1234567	東京湾	2014/11/1	埼玉県〇〇市〇〇	〇〇(株)	家具	〇〇運輸	〇〇運輸車庫/ 〇〇市〇〇	〇〇運輸	2014/1/20	埼玉県〇〇市〇〇	〇〇(株)	KD パーツ	〇〇運輸	東京湾
40HC	〇〇(船会社名)	OOLU1234570	横浜港	2015/1/6	埼玉県〇〇市〇〇	〇〇	化学用品	〇〇運輸	なし	〇〇運輸	2015/1/7	群馬県〇〇市〇〇	〇〇	KD パーツ	〇〇運輸	横浜港

# 埼玉県の取組

## ラウンドユース状況公表イメージ



## 埼玉県の取組

### 共同体登録

レンゴー(株)・(株)ニトリ・国際紙パルプ商事(株)・八潮運輸(株) 共同体

登録年月日	平成26年10月21日
荷主(輸出)	レンゴー(株)【八潮市／段ボール原紙・段ボール製品】 国際紙パルプ商事(株)【埼玉県内／古紙等、紙製品全般】
荷主(輸入)	(株)ニトリ【白岡市／家具・インテリア雑貨】
陸運事業者	◎八潮運輸(株)  ■オンシャーシで当該ラウンドユースを実施
連絡担当者	八潮運輸株式会社 経営企画部 部長 金原 048-924-2217 kanehara.yukio@e-yasio.com

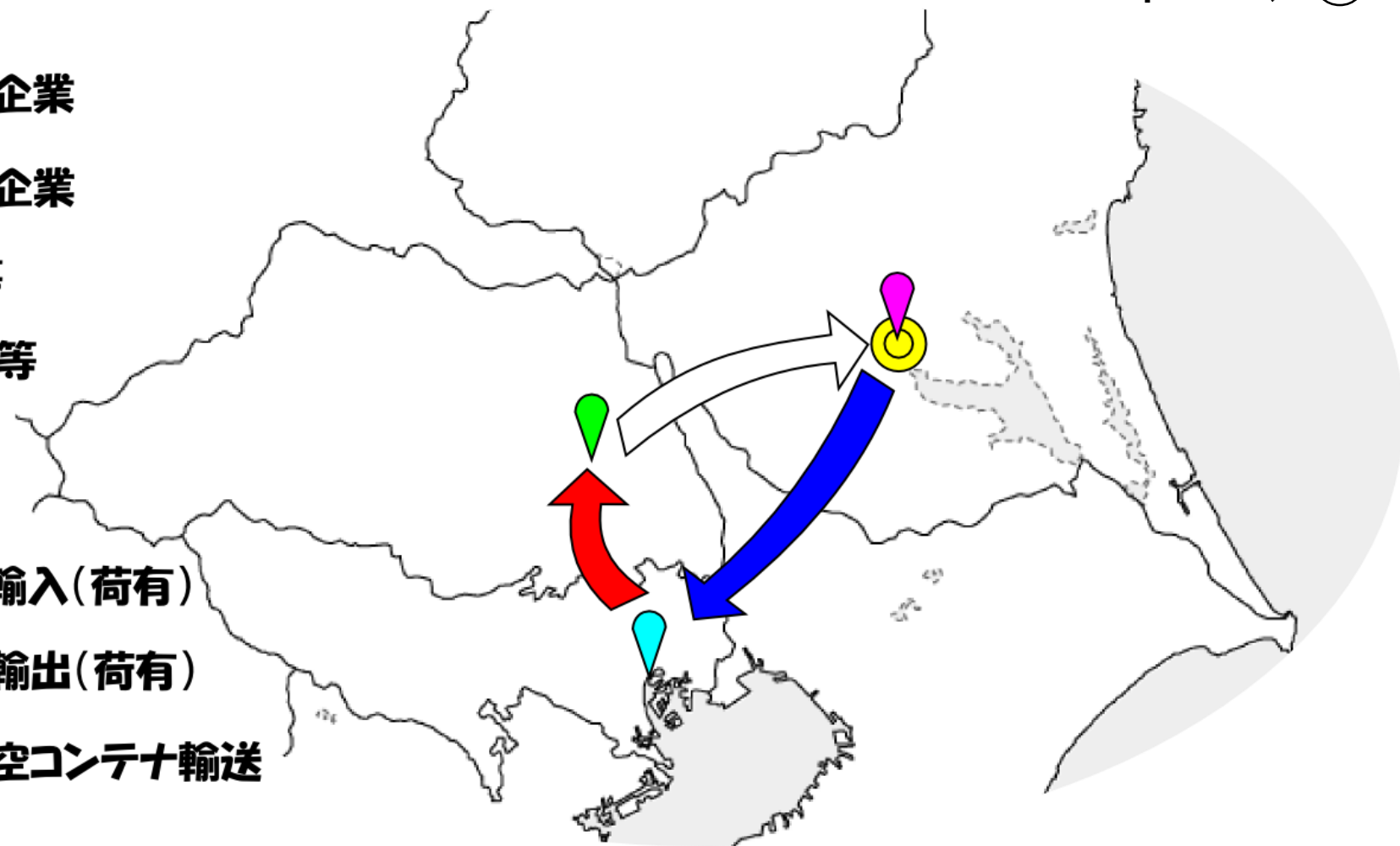
# 埼玉県の取組

## 共同体登録 公表内容

イメージ①

-  輸入企業
-  輸出企業
-  港等
-  テポ等

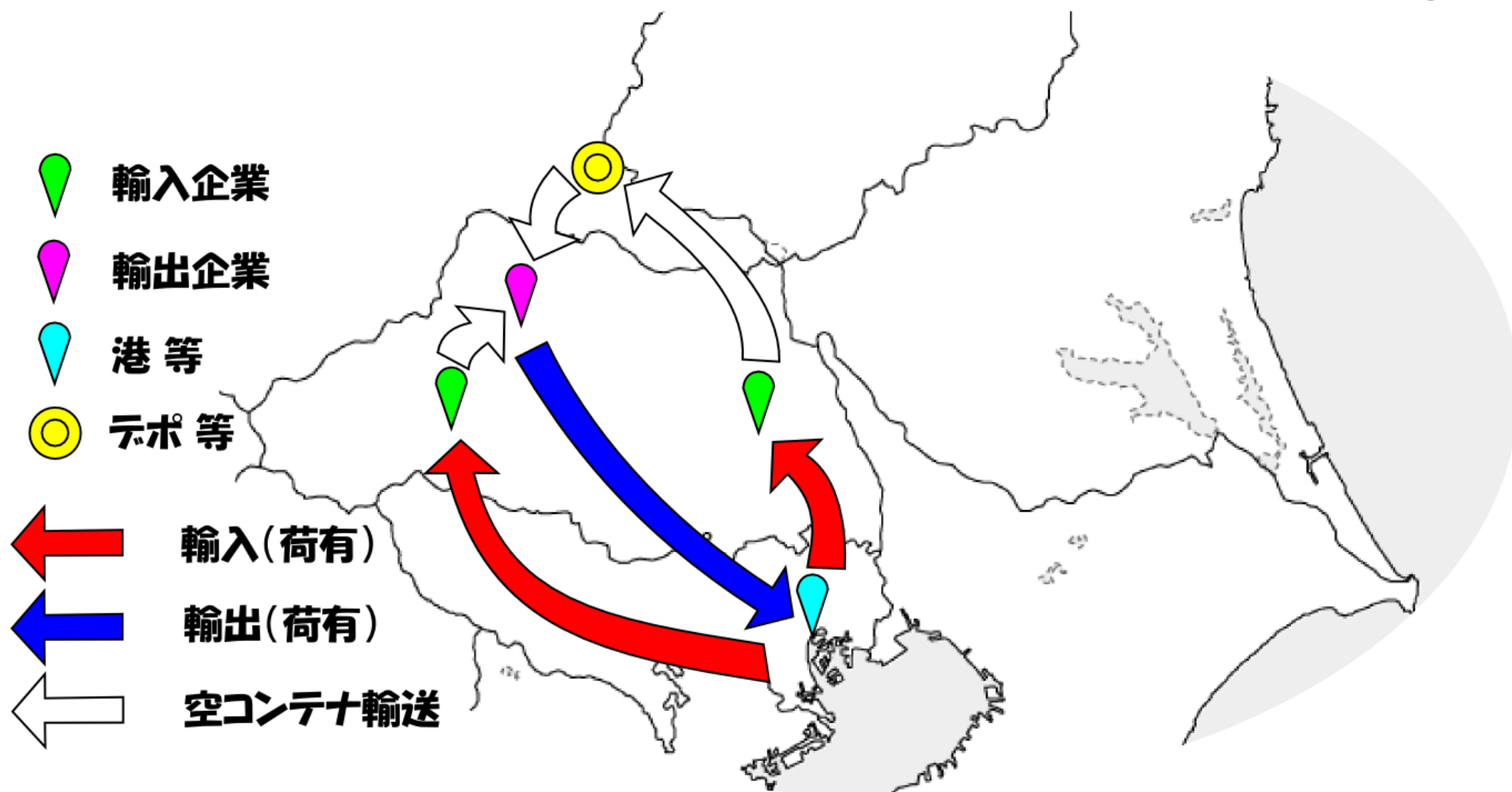
-  輸入(荷有)
-  輸出(荷有)
-  空コンテナ輸送



# 埼玉県の取組

## 共同体登録 公表内容

イメージ②



# 埼玉県の取組

## 社会実験イメージ

社会実験の実施(H26. 11. 1~H27. 1. 31) <予定>

### CRU(コンテナの往復利用)実績を県が把握し、CRU支援策の検討に役立てる

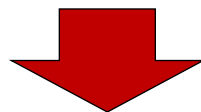
輸入の目的地または輸出の出発地が埼玉県内



□報告者 : SCRU構成員で、当該コンテナのマッチングを仲介した荷主企業、陸運事業者、その他当該作業に貢献した者

## コンテナラウンドユースの課題

- ・荷主 ⇒ 輸送費用が半額になると思っている
- ・物流業者 ⇒ 船会社がラウンドユース契約を結んでくれない
- ・船会社 ⇒ ラウンドユース中に荷物及びコンテナに損害が生じた場合の責任が不明確になる



埼玉県コンテナラウンドユース協議会(SCRU)により  
課題を解決

- ・意見交換、保険制度の設計

## コンテナラウンドユース保険

# ラウンドユースを対象とした保険制度をSCRUで設計

- ① 損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
桜井 義徳 氏  
TEL 03-3593-6182  
E-mail:YSakurai16@sjnk.co.jp
  
- ② 東京海上日動火災保険株式会社 代理店  
有限会社グローバルネッツ 二瓶 敏哉 氏  
TEL 090-3249-0279  
E-mail:glnetz0330@yahoo.co.jp

## 期待する効果

### トリプルWINの実現(荷主・陸運事業者・県)

- ・荷主 ⇒ 物流の効率化
- ・物流業者 ⇒ 物流産業の雇用確保、  
特に女性ドライバー(トラガール)  
雇用促進
- ・県 ⇒ 企業立地ポテンシャルの向上

## 平成26年度 予定

### ○社会実験結果とりまとめ

⇒現時点でのCRU実績から、期待する効果の検証

### ○共同体との意見交換

⇒CRU支援方策検討

### ○H27年度 社会実験継続の方針決定

---

【お問合せ先】 埼玉県 都市整備部 都市計画課 総務・企画担当  
電話 048-830-5337(直通)  
e-mail a5330-07@pref.saitama.lg.jp(CRU専用)